

Immediate Press Release 2017.12.08

谷川俊太郎展

謹啓 初冬の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は東京オペラシティアートギャラリーの
展覧会活動に対して、格別なご高配、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当館では2018年1月13日 [土] より3月25日 [日] まで、「谷川俊太郎展」を開催致します。

谷川俊太郎は1952年に詩集『二十億光年の孤独』で鮮烈なデビューを果たしました。感傷や情念とは距離をおく
軽やかな作風は、戦後の詩壇に新風をもたらします。

詩作のほかにも「鉄腕アトム」の主題歌、『マザーグースのうた』や『ピーナッツ』の翻訳、市川崑監督による映画「東
京オリンピック」の脚本、武満徹ら日本を代表する音楽家との協働などで知られるように、谷川は幅広い仕事
によって詩と言葉の可能性を拡げてきました。読み手一人一人の心に届くわかりやすい言葉、みずみずしい言
葉は、現在も子どもからお年寄りまで多くの人々を魅了し続けています。しかしその仕事の幅広さ・膨大さゆえ
に、谷川の「人」と「作品」の全体像をとらえるのは容易ではありません。

本展は私たちが知っているはずの谷川俊太郎像を見つめ直す試みです。実生活を基盤に詩をつむぎ出してきた
谷川の、暮らしの周辺のものごとを焦点をあて、そこからダイレクトに谷川像を立ち上がらせませす。谷川が影
響を受けた音楽や「もの」、家族写真、大切な人たちとの書簡、ラジオのコレクション等を、選りすぐりの詩作
品とともに展示することで、私たちの知らなかった詩人・谷川俊太郎が浮かび上がってくることでしょう。

本展のための書き下ろしの詩や、特別出品となる音楽家・小山田圭吾（コーネリアス）、インターフェイスデザ
イナー中村勇吾 (tha ltd.) とのコラボレーションも発表します。


つきましては、「谷川俊太郎展」を貴媒体上で是非ご紹介いただきたく、周知・告知活動にご協力を賜りますよ
う何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

[開催概要]

展覧会名： 谷川俊太郎展 TANIKAWA Shuntaro
会期： 2018年1月13日 [土] — 3月25日 [日]
会場： 東京オペラシティ アートギャラリー
開館時間： 11:00 — 19:00 (金・土は20:00まで／最終入場は閉館の30分前まで)
休館日： 月曜日 (祝休日の場合翌火曜日)、2月11日 [日・全館休館日]
入場料： 一般1,200 (1,000) 円／大・高生800 (600) 円／中学生以下無料

- * 同時開催「収蔵品展061 なつかしき」、「project N 70 宮本穂曇」の入場料を含みます。
- * 収蔵品展入場券200円 (project Nを含む / 割引無し) もあり。
- * () 内は15名以上の団体料金。
- * 障害者手帳をお持ちの方および付添1名は無料。
- * 割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

お問合せ： 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
ウェブサイト： <http://www.operacity.jp/ag/exh205/>  <https://www.facebook.com/tocag>
主催： 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団、朝日新聞社
協賛： 日本生命保険相互会社
協力： パナソニック株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社渋谷文泉閣、
株式会社山田写真製版所
企画協力： ナナロク社
音楽：小山田圭吾 (コーネリアス)、映像：中村勇吾 (tha ltd.)、
会場グラフィック：大島依提亜、会場構成：五十嵐瑠衣

リリースに関するお問い合わせ

東京オペラシティ アートギャラリー 【展覧会担当】佐山 【広報担当】吉田
Tel:03-5353-0756 / Fax:03-5353-0776 / Email: ag-press@toccf.com

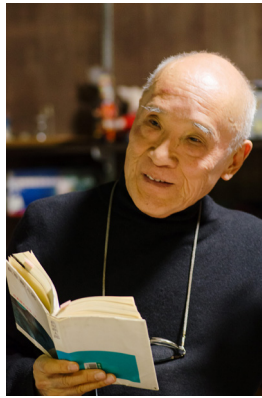


photo: 深堀瑞穂



photo: 深堀瑞穂

〔展示内容〕

Gallery1: 音と映像による新たな詩の体験

展覧会の始まりは小山田圭吾（コーネリアス）の音楽とインターフェイスデザイナー中村勇吾（tha ltd.）の映像による、谷川俊太郎の詩の空間です。名作絵本『ことばあそびうた』で知られる詩「かっぱ」など、谷川のことばに内在するリズムと小山田の音楽との出会いにご期待ください。谷川の声をはじめとする音と映像のカラーージュは、谷川の詩を浴びるような、新たな詩の体験を生むでしょう。

Gallery2: 「自己紹介」

おそらく日本で一番その名を知られているであろう詩人・谷川俊太郎。それぞれの世代が思い浮かべる谷川の仕事や詩人像があることでしょう。その誰もが知っているはずの谷川俊太郎像を見つめ直すため、本スペースでは、20行からなる谷川の詩「自己紹介」に沿って、20のテーマごとに谷川にまつわるものごとを展示します。会場には20行の詩を1行ごとにしるした柱があらわれ、谷川が影響を受けた音楽や「もの」、家族写真、大切な人たちとの書簡、ラジオのコレクション、知られざる仕事などが織り込まれ、選りすぐりの詩作品を取り囲むように展示されます。谷川の詩で谷川を紹介するユニークな展示は、谷川の日々の暮らしと詩の深い関わりが浮かび上がってくることでしょう。また、本展のための書き下ろしの詩も発表します。

コリドール: 「3.3の質問」

「3.3の質問」は、谷川が1986年に出版した『33の質問』（ノーマン・メイラーの「69の問答」にちなんで33の質問を作り、7人の知人に問いかけをしながら語り合う）がもとになっています。本プロジェクトではその現代版として、当初の33の質問から谷川が3問を選び、それに「0.3の質問」を加えて「3.3の質問」を新たに作りました。これらを各界で活躍する人々に投げかけ、その返答を作品として展示します。シンプルな問いに、回答者のどんな世界観が見えてくるのでしょうか。「問うこと」、「答えること」、「そこに立ち会うこと」に、詩的な体験があふれています。

〔関連企画〕

開催記念対談

- 1. 1月27日 [土] 都築響一（編集者）× 谷川俊太郎
- 2. 2月10日 [土] 小山田圭吾（コーネリアス）（音楽家）× 谷川俊太郎
- 時間：各回 14:00 [13:45 開場] 会場：東京オペラシティビル 7F 会議室 定員：各回 160 名（全席自由）
- 参加費：無料（展覧会の入場は別料金）、要整理券
- *開催当日 11:00 よりアートギャラリー入口にて整理券を配布します。整理券はおひとり 1 枚のみ。

スペシャルライブ 谷川俊太郎 & DiVa 「よしないうた」

谷川俊太郎による詩の朗読と 1995 年に結成された、高瀬 "makoring" 麻里子 (Vo)、谷川賢作 (Pf)、大坪寛彦 (B) による現代詩を歌うバンド DiVa のスペシャルライブ。

- 日時：2018 年 3 月 10 日 [土] 14:00 開演 (13:30 開場) 会場：東京オペラシティ リサイタルホール
- 料金：3,500 円 [全席自由・税込み] チケット予約：東京オペラシティ チケットセンター 03-5353-9999

NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] との展覧会相互割引

NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] の企画展「坂本龍一 with 高谷史郎 | 設置音楽 2 IS YOUR TIME」会期 2017 年 12 月 9 日 [土] — 2018 年 3 月 11 日 [日] と入場料が団体料金になる相互割引を実施します。詳細はウェブサイトにてお知らせします。